

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和8年1月9日（金）

### 2 確認箇所

- ・モニタリングポスト（No. 5 及び 6）（図 1）
- ・3・4号機超高压開閉所建屋及びホールドアップ建屋（図 1）

### 3 確認項目

- （1）敷地境界モニタリングポストの周囲の状況
- （2）3・4号機超高压開閉所建屋及びホールドアップ建屋の雨水排水対策

### 4 確認結果の概要

#### （1）敷地境界モニタリングポストの周囲の状況

福島第一原子力発電所の敷地境界付近には 24 時間連続で環境中の放射線を測定するモニタリングポストが計 8 か所設置されている。

今回は、周辺監視区域<sup>※1</sup>の外側（敷地境界の西側）に設置されている 2 か所のモニタリングポストにおける周囲の状況を確認した。（前回確認：令和6年9月5日）

- ・モニタリングポスト No. 5 及び 6 の周囲には放射線測定の障害となるものはなかった。（写真 1 及び 2）
- ・確認した範囲で、モニタリングポストに設置された放射線検出器やダストモニタ吸気口等の外観に異常は確認されなかった。

※1 周辺監視区域 原子力施設の周辺をフェンス等により区画し、その外側にいる人が受ける放射線の量が、法令で規制している値（1 年間の実効線量：1 mSv）を超えることがないように管理している区域のこと。

#### （2）3・4号機超高压開閉所建屋及びホールドアップ建屋の雨水排水対策

令和3年8月頃から11月頃にかけて、1～4号機建屋周辺に設けられている陸側遮水壁（凍土壁）の一部において、地中温度が0℃を超える状態が継続する事象が発生したため、東京電力は周辺地下水の流入を抑制させるために「試験的な止水」及び「周辺建屋の雨水排水先の変更」を実施した。

今回は、当該対策の水平展開として東京電力が実施している3・4号機超高压開閉所建屋<sup>※2</sup>及びホールドアップ建屋<sup>※3</sup>における雨水排水対策（雨水排水設備等の現況及び建屋周辺のフェーシング工事の実施状況）を確認した。（前回確認：令和6年11月19日）

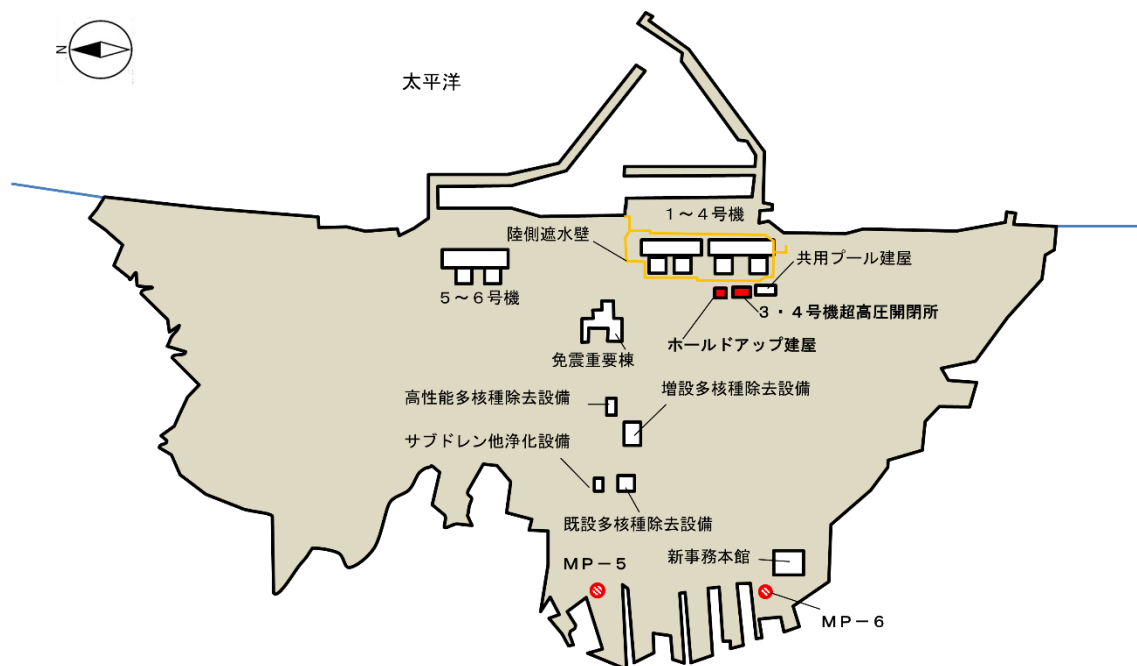
- ・3・4号機超高压開閉所建屋内東側4本、西側7本の雨水配水管について、目視で配水管の破断等が生じていないことを確認した。（写真3）
- ・ホールドアップ建屋内北東に1本、南壁に2本設置されている雨水配管を

確認するとともに、雨水排水が、勾配がつけられたフェーシング面により導水されていることを確認した。(写真4)

- ・前回確認時未完了であった3・4号機超高压開閉所建屋南西側(共用プール建屋と開閉所の間隙部)のフェーシングが完了していることを確認した。(写真5)

※2 3・4号機超高压開閉所建屋 発電所でつくられた電気を外部(送電網)へ送るための設備

※3 ホールドアップ建屋 主に放射性物質の吸着・除去を目的とした設備が設置されている建屋



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)  
モニタリングポスト No. 5の外観



(写真1-2)  
モニタリングポスト No. 5内機器



(写真 2-1)  
モニタリングポスト No. 6 の外観



(写真 2-2)  
モニタリングポスト No. 6 内機器



(写真 3-1)  
3・4号機超高压開閉所建屋外観



(写真 3-2)  
3・4号機超高压開閉所建屋北側  
雨水配管の様子



(写真 4-1)  
ホールドアップ建屋外観



(写真 4-2)  
ホールドアップ建屋西側雨水排水  
口の様子



(写真 5)  
3・4号機超高压開閉所建屋南西  
側フェーシングの状況 (完了済み)

## 5 プラント関連パラメータ等確認について

本日確認したデータについて、異常値は確認されなかった。